mixi GROUP

2020年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年８月９日

上 場 会 社 名　株式会社ミクシィ　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　2121　URL　https://mixi.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）木村　弘毅
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員CFO　（氏名）大澤　弘之　（TEL）03-6897-9500
四半期報告書提出予定日　2019年８月13日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・証券アナリスト向け電話会議　）

（百万円未満切捨て）

１．2020年３月期第１四半期の連結業績（2019年４月１日～2019年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年３月期第１四半期	20,780	△39.9	1,637	△85.2	1,683	△84.7	1,134	△84.4
2019年３月期第１四半期	34,561	△28.3	11,029	△45.4	11,028	△45.2	7,294	△46.8

（注）包括利益　2020年３月期第１四半期　1,011百万円（△86.7%）　2019年３月期第１四半期　7,622百万円（△44.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2020年３月期第１四半期	15.05	14.99
2019年３月期第１四半期	94.94	94.77

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年３月期第１四半期	186,409	175,500	93.8
2019年３月期	192,068	178,990	92.9

（参考）自己資本　2020年３月期第１四半期　174,922百万円　2019年３月期　178,431百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2019年３月期	―	60.00	―	60.00	120.00
2020年３月期	―				
2020年３月期（予想）		55.00	―	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2020年３月期の連結業績予想（2019年４月１日～2020年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	100,000	△30.6	5,000	△87.8	5,000	△87.8	3,000	△88.7	39.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　—社（社名）　、除外　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年３月期１Ｑ	78,230,850株	2019年３月期	78,230,850株
②　期末自己株式数	2020年３月期１Ｑ	2,881,300株	2019年３月期	2,881,300株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2020年３月期１Ｑ	75,349,550株	2019年３月期１Ｑ	76,833,021株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下さる様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信（添付資料）P. ３「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２．当社は、2019年８月９日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）経営成績に関する説明 …… ２
（２）財政状態に関する説明 …… ３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… ３
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… ４
（１）四半期連結貸借対照表 …… ４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… ５
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… ７
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… ８
（継続企業の前提に関する注記） …… ８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… ８
（セグメント情報等） …… ８
（企業結合等関係） …… ９
（重要な後発事象） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

	前第１四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年６月30日）	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	34,561	20,780	△39.9%
営業利益(百万円)	11,029	1,637	△85.2%
経常利益(百万円)	11,028	1,683	△84.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	7,294	1,134	△84.4%

当第１四半期連結累計期間の売上高は20,780百万円（前年同四半期比39.9%減）となりました。また、営業利益は1,637百万円（前年同四半期比85.2%減）、経常利益は1,683百万円（前年同四半期比84.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,134百万円（前年同四半期比84.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値（EBITDA）としております。

① エンターテインメント事業

	前第１四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年６月30日）	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	32,709	19,970	△38.9%
セグメント利益(百万円)	13,190	4,172	△68.4%

エンターテインメント事業は、スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げる一方で、スポーツ領域での事業成長を目指し先行投資を行っております。「モンスターストライク」は、他社IPや異業種とのコラボレーション、「XFLAG PARK」などのイベントや関連グッズの製作、オリジナルアニメの配信や劇場版公開など、IPを活用した事業も運営しております。前年同期と比較してアクティブユーザー数とARPUが低下したことにより売上高は減少しておりますが、ゲーム利用者数は2019年７月には全世界で5,100万人を突破するなど拡大を続けており、モンスターストライクのIPを活用した新規ゲームの開発等を積極的に進めております。

スポーツ領域においては、プロスポーツチーム経営、公営競技関連事業への投資を行っております。プロスポーツチーム経営については、2017年８月にパートナーシップ契約を締結したB.LEAGUE所属「千葉ジェッツ」と2019年４月に戦略的資本業務提携を行い、株式取得に向けクロージング作業を推進しております。また、「FC東京」や「東京ヤクルトスワローズ」に対してマーケティングパートナーシップを締結し、両社のマーケティング支援を行っております。公営競技関連事業につきましては、2019年２月にインターネットで競輪およびオートレースに投票するサービス「チャリロト.com」を提供する株式会社チャリ・ロトの全株式を取得し、共同で新たなサービスの開発を進めております。

この結果、当事業の売上高は19,970百万円（前年同四半期比38.9%減）、セグメント利益は4,172百万円（前年同四半期比68.4%減）となりました。

② ライフスタイル事業

	前第１四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年６月30日）	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	1,851	810	△56.2%
セグメント損失(△)(百万円)	△424	△272	－%

ライフスタイル事業では、SNS「mixi」、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」は、2019年６月には利用者が500万人を突破するなど、2015年４月にサービス開始して以来、継続的に利用者数を伸ばしております。同アプリでは、2019年４月に機能を充実化させた月額課金制のプレミアムサービスを開始するなど、マネタイズの強化を行っております。2019年６月にはスマホフォトプリント事業等を手掛け、年賀状アプリサービスの領域においてトップクラスの注文枚数を誇る株式会社スフィダンテを子会社化いたしました。「家族アルバム みてね」と株式会社スフィダンテの年賀状アプリの双方の事業アセットを活かし、共同で事業開発を推進してまいります。前年同期と比較して、前期の株式会社Diverseの全株式譲渡等の影響により売上高が減少しております。

この結果、当事業の売上高は810百万円（前年同四半期比56.2%減）、セグメント損失は272百万円（前年同四半期はセグメント損失424百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態

当第１四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が154,471百万円（前連結会計年度末比6,352百万円減少）となり、主な要因としては、未払金の支払による現金及び預金の減少があげられます。固定資産は31,937百万円（前連結会計年度末比694百万円増加）となっております。

負債については、流動負債が10,166百万円（前連結会計年度末比2,282百万円減少）となり、主な要因としては、未払金の減少があげられます。純資産は175,500百万円（前連結会計年度末比3,490百万円減少）となり、主な要因としては、配当の支払による減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第１四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて6,024百万円減少し、138,393百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は2,322百万円（前年同四半期は234百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払による減少395百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が1,661百万円となったことと消費税の還付による増加1,417百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は4,418百万円（前年同四半期は588百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の取得による支出1,806百万円及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,469百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は3,922百万円（前年同四半期は14,088百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払3,992百万円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結の業績見通しにつきましては、2020年３月期第１四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向に加え、今後のエンターテインメント事業及びライフスタイル事業における様々な不確定要素を踏まえ、2019年５月10日に公表した予想を据え置いております。今後予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2019年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	144,417	138,393
売掛金	9,402	8,962
商品	297	266
原材料	－	12
その他	6,733	6,866
貸倒引当金	△27	△28
流動資産合計	160,824	154,471
固定資産		
有形固定資産	4,109	4,372
無形固定資産		
のれん	5,121	7,558
その他	766	878
無形固定資産合計	5,887	8,437
投資その他の資産		
投資有価証券	6,688	7,646
繰延税金資産	9,426	6,302
その他	5,132	5,179
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,246	19,127
固定資産合計	31,243	31,937
資産合計	192,068	186,409
負債の部		
流動負債		
未払金	8,298	5,388
未払法人税等	504	250
未払消費税等	－	489
賞与引当金	837	304
その他	2,808	3,733
流動負債合計	12,448	10,166
固定負債		
その他	628	742
固定負債合計	628	742
負債合計	13,077	10,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,668	9,668
利益剰余金	169,069	165,682
自己株式	△10,905	△10,905
株主資本合計	177,531	174,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	569
為替換算調整勘定	234	208
その他の包括利益累計額合計	900	777
新株予約権	555	574
非支配株主持分	3	3
純資産合計	178,990	175,500
負債純資産合計	192,068	186,409

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年６月30日）
売上高	34,561	20,780
売上原価	4,387	4,511
売上総利益	30,174	16,268
販売費及び一般管理費	19,144	14,631
営業利益	11,029	1,637
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	9	5
投資事業組合運用益	112	－
その他	15	161
営業外収益合計	139	166
営業外費用		
支払利息	－	1
投資事業組合運用損	－	81
支払手数料	136	－
その他	3	36
営業外費用合計	140	119
経常利益	11,028	1,683
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	67	－
特別利益合計	67	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	17
減損損失	－	5
投資有価証券評価損	124	－
特別損失合計	129	22
税金等調整前四半期純利益	10,966	1,661
法人税、住民税及び事業税	2,743	198
法人税等調整額	928	328
法人税等合計	3,671	527
四半期純利益	7,294	1,134
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,294	1,134

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年６月30日）
四半期純利益	7,294	1,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	345	△96
為替換算調整勘定	△17	△26
その他の包括利益合計	328	△122
四半期包括利益	7,622	1,011
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,622	1,011
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,966	1,661
減価償却費	221	268
減損損失	－	5
のれん償却額	－	97
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△634	△533
受取利息	△1	△0
支払利息	－	1
為替差損益（△は益）	△8	6
支払手数料	136	－
投資事業組合運用損益（△は益）	△112	81
固定資産除売却損益（△は益）	5	16
たな卸資産の増減額（△は増加）	△187	32
投資有価証券売却損益（△は益）	△67	－
投資有価証券評価損益（△は益）	124	－
売上債権の増減額（△は増加）	8	456
未払金の増減額（△は減少）	△592	△2,987
未払消費税等の増減額（△は減少）	1,130	477
その他	△1,262	3,126
小計	9,725	2,714
利息の受取額	1	4
法人税等の支払額	△9,492	△395
営業活動によるキャッシュ・フロー	234	2,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
事業譲受による支出	－	△1,030
有形固定資産の取得による支出	△279	△569
無形固定資産の取得による支出	△78	△64
投資有価証券の取得による支出	△512	△1,237
投資有価証券の売却による収入	74	－
投資有価証券の分配による収入	206	50
差入保証金の差入による支出	－	△107
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△1,469
その他	0	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588	△4,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	70
自己株式の取得による支出	△10,136	－
配当金の支払額	△3,951	△3,992
その他	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,088	△3,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,435	△6,024
現金及び現金同等物の期首残高	156,190	144,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	141,755	138,393

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第１四半期連結累計期間（自　2018年４月１日　至　2018年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エンターテインメント事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,709	1,851	34,561	－	34,561
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	0	△0	－
計	32,709	1,851	34,561	△0	34,561
セグメント利益又は損失(△)	13,190	△424	12,766	△1,736	11,029
その他の項目					
減価償却費	91	1	92	128	221
のれん償却額	－	－	－	－	－

（注）１．セグメント利益の調整額△1,736百万円には、報告セグメントの減価償却費△92百万円及び各セグメントに配分していない全社費用△1,644百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　2019年４月１日　至　2019年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エンターテインメント事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,969	810	20,780	－	20,780
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	0	△0	－
計	19,970	810	20,780	△0	20,780
セグメント利益又は損失(△)	4,172	△272	3,899	△2,262	1,637
その他の項目					
減価償却費	123	8	132	136	268
のれん償却額	97	－	97	－	97

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△2,262百万円には、報告セグメントの減価償却費△132百万円及びのれん償却額△97百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△2,032百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び取得した事業の内容
被取得企業の名称　：株式会社スフィダンテ
取得した事業の内容：スマホフォトプリント事業

② 企業結合を行った理由
スフィダンテの提供するデザインが豊富で高い品質の年賀状アプリサービスと、当社が提供する家族向け写真・動画共有アプリサービス「家族アルバム みてね」双方のアセットを組み合わせ、共同で事業開発を行うため同社の株式を取得したものであります。

③ 企業結合日
2019年６月28日

④ 企業結合の法的形式
株式取得

⑤ 結合後企業の名称
株式会社スフィダンテ

⑥ 取得した議決権比率
100％

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が、株式会社スフィダンテの議決権の全てを取得し、連結子会社化したことによるものであります。

(2) 四半期に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2019年５月31日（株式会社スフィダンテの第３四半期決算日）とし、同日現在の財務諸表を基礎として連結決算を行っているため、第１四半期連結累計期間には被取得企業の業績を含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,599百万円
取得原価		1,599百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー・調査費用等　　15百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額	1,504百万円 なお、のれんの金額は、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であり、取得原価の配分が完了していないため暫定的に算定された金額であります。
② 発生原因	被取得企業に係る取得企業の持分額と取得原価との差額により、発生したものであります。
③ 償却方法及び償却期間	効果の発現する期間にわたって均等償却します。償却期間については取得原価の配分の結果を踏まえて決定する予定です。

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	197百万円
固定資産	95百万円
のれん	1,504百万円
流動負債	△81百万円
固定負債	△115百万円
株式の取得価額	1,599百万円
新規連結子会社の現金及び現金同等物	△130百万円
差引：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	1,469百万円

(7) 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当該影響の概算額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

(新株予約権(ストックオプション)の付与)

当社は、2019年６月26日開催の取締役会において決議した、当社の取締役及び執行役員に対して発行する新株予約権(ストックオプション)について、2019年７月16日に以下のとおり付与しました。

１．新株予約権の割当対象者及びその人数並びに割り当てる新株予約権の数

対象者	人数	新株予約権
当社取締役（社外取締役を除く）	５名	3,689個
当社執行役員	７名	368個
計	12名	4,057個

２．新株予約権の総数

4,057個（新株予約権１個当たりの目的となる株式数 100株）

上記総数は、割当数の上限であり、引受けの申込みがなされなかった場合等、割り当てる新株予約権の総数が減少した場合は、割り当てる新株予約権の総数をもって発行する新株予約権の総数とする。

３．新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式　405,700株

４．新株予約権の払込金額

金銭の払込みを要しないものとする。

５．割当日

2019年７月16日

６．新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

各新株予約権を行使することにより交付を受けることができる株式１株当たりの払込金額を１円とする。

７．新株予約権の権利行使期間

対象者	権利行使期間
当社取締役（社外取締役を除く）	2019年７月17日～2049年７月16日
当社執行役員	2020年７月17日～2025年７月16日